

事業者名	中島米穀株式会社	所在地	岐阜県岐阜市
事業内容	「LPガスユーザー宅に設置された機器により保安、検針、ガス残量情報等を取得する事業」		
補助事業者の概要			
1. 現地調査場所	中島米穀株式会社本社		
2. 事業実施期間	令和2年9月11日～事業完了日: 令和3年1月25日		
3. 事業費用総額	3,000,322円	補助金額	1,500,161円
稼働・運営状況			
4. 令和2年度までのLPWA累計導入率	31.4%		
5. 集中監視センター設備	☐ 自社所有 ☒ 共同利用(イワタニコールセンター株式会社)		
6. 配送	☐ 自社配送 ☒ 他社委託		
7. 保安	☐ 自社保安 ☒ センター委託		
8.-1			
 中島米穀本社  パソコン画面、データをさまざまな用途に活用できる  設置したLPWA			
8.-2 検針値データの活用			
☐ システム連携 ☒ 販売管理 ☐ 料金請求 ☐ 配送 ☐ 保安			
9. これまで導入しなかった、導入が進まなかった理由			
☒ 初期コスト ☐ ランニングコスト ☐ トータルコスト ☐ 導入までの時間 ☐ LPWAの知識がなかった ☐ 補助金の認知不足 ☐ その他			
具体的な理由	LPWAの機器代、工事費等の金額が高く、なかなか設備投資に費用がかけられなかったこと、補助金の申請をしたが審査に通らなかったから。		

10. 事業の導入で得られた効果(内容・数値)	
①検針業務	
☒ 作業時間 ☐ 日数 ☐ 人数 ☐ 費用 ☒ 車両代・燃料費 ☒ 読取りミス ☐ 検針遅れ ☐ その他	
具体的内容	検針にかける時間が少なくなったので、他の業務に時間を回すことができたようになった。 検針が毎月同日に行えることになったために数値にバラツキがなくなった、検針の際の読み取りミスや計算間違いがなくなった。車両の燃料費が抑えられるようになった。
②コスト面でのメリット・デメリット(内容・数値)	
☐ イニシャルコスト ☒ センター費用 ☒ 通信費 ☒ その他	
具体的内容	メリット: 車両の燃料費が抑えられるようになった。人件費が抑えられた。 デメリット: 販売システムに連動させる費用がかかった。センターの費用、通信費等の費用が増えた。
③その他の業務面でのメリット(内容・数値)	
☐ ガス料金代請求業務 ☐ 開閉栓 ☒ 緊急遮断 ☒ 緊急出動 認定保安 ☐ 1号 ☐ 2号 ☐ 無し ☒ その他	
具体的内容	緊急遮断が事前に連絡できることにより、遮断時の電話対応や出動が減った。顧客の使用状況が明確化したことで、使用時間の延長や使用量の上限等の設定で対応できるようになった。
④配送面での効果(内容・数値)	
☐ 残量監視 ☐ 配送予測 ☐ 燃料消費量 ☒ ガス切れ防止 ☐ 残ガス率 ☐ 全数交換 ☐ その他	
具体的内容	急激な使用料の増加等によるガス切れがなくなった。使用料の増減が激しい顧客により、細やかに配送できるようになった。
⑤その他の合理化・効率化効果(内容・数値)	
☐ 災害時の被害状況把握 ☐ 見守りサービスなど顧客サービス ☒ 人手不足 ☐ 高齢化 ☐ 労務管理 ☐ 残業時間 ☐ 休日出動 ☐ その他	
具体的内容	社員の退社による検針業務の引き継ぎ(顧客の場所やメーターの設置場所等)が必要なくなった。検針データの入力が効率化できた。
11. 反省点、課題、要望(補助金、メーカー) 具体的内容	
委託配送先に関連会社のコールセンターを利用したが、そこ以外の配送委託先を別のコールセンターを利用したため、コストが余分にかかった。今回は機器代だけの補助金だったので、以前のようにシステムや工事代にも少額でも補助金を出してほしい。	
12. 継続のモチベーション、今後の展開・方針、将来展望 具体的内容	
今後は集中監視システムの70%以上を目指して、第一号認定LPガス販売事業者を取得できるようにしたい。それによって抑えられたコストをガス価格に反映させ、お客さまに還元していきたい。	